

部局目標 [2020年度]

局名 福岡拠点放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	地域の皆さまの安全・安心な暮らしを支え、多様な地域の魅力や話題、様々な課題を広く国内外に発信し、地域に寄り添う放送局として視聴者の期待に応えます。	<p>◇地震、火山、大雨などの自然災害に備えて、日頃から防災・減災に取り組めます。災害発生時には地域に向けた放送を最優先する“ローカルファースト”を基調に、デジタルサービスも駆使して視聴者に必要とされる情報を発信します。</p> <p>◇新たな感染症の脅威や影響、貧困・格差、高齢化、若い世代が直面する問題、原子力発電所を巡る動き、安全保障など九州沖縄に共通する課題を深く掘り下げます。</p> <p>◇地域の自然や歴史、伝統文化に目を向け、そこに暮らす人々を描くドラマや地元を意識したエンターテインメントなど、世代を超えて楽しめる番組を制作します。</p> <p>◇北部九州エリアの広域的な情報発信を強化し、北九州放送局・佐賀放送局と連携して地域に密着した話題や情報を伝えます。</p> <p>◇開催が延期となった「東京オリンピック・パラリンピック」への機運を高め、プロ野球やサッカーリーグなど地元チームの情報をニュースや番組で積極的に発信し、視聴者と一体となって地域を盛り上げます。</p> <p>◇アジアとつながりの深い地域ならではの視点で、インバウンドが地域の経済や観光に及ぼす影響、「東京オリンピック・パラリンピック」関連の動向にも注目し、地域の魅力とあわせて全国・世界に発信します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	「公共メディア」の姿を追求し、新しいサービスへの対応や業務の見直しと改革を進め、高い倫理観、創造性と活気にあふれる職場を実現し、地域の皆さまから必要とされる存在であり続けます。	<p>◇地域の皆さまの期待に応える放送・サービスの実現に向けて、限られた経営資源を有効に活用するため、業務を迅速かつ継続的に改善するプロセスを定着させ、九州・沖縄ブロック全体で持続可能な業務体制を構築します。</p> <p>◇「九州・沖縄 地域改革プラン」3年目の取り組みを推進して地域改革の内実を高めるとともに、いっそう働き方改革を進め、やりがいを持って生き生きと働ける職場環境づくりを行います。</p> <p>◇NHKプラスの理解促進を図るため、イベント会場などでのPRを展開し、積極的な周知・広報に努めます。また、福岡放送局制作の番組を常時同時配信・番組見逃し配信サービスに積極的に展開します。</p> <p>◇4K8Kの超高精細映像と臨場感あるサウンドを活かして地域に根差したコンテンツ制作を行い、地域の皆さまとの共有、全国への発信、貴重な地域文化の保存など多彩な活用を行います。</p> <p>◇「公共メディア」を支える高い倫理観と創造性を持つ人材の採用および育成に努め、リスクマネジメントの強化を図り、透明性の高い業務運営を行います。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	放送やインターネット、イベントなどを通じて地域の皆さまとのふれあいの場を創出し、地域との結びつきを強化するとともに、NHKへの理解促進、受信料の公平負担の徹底を図ります。	<p>◇福岡放送局開局90年事業を全局態勢で取り組み、地域への感謝を伝えるとともに、これからも視聴者の皆様に愛される放送局を目指します。</p> <p>◇公開番組やイベントを通じた視聴者コミュニケーション活動を積極的に推進し、幅広い世代からより身近に感じてもらえるNHKをめざすとともに、受信料制度の理解促進を図ります。</p> <p>◇新設する8Kシアターを活用し、大型スポーツイベントのPVやコンテンツを活用したイベント展開など、8Kの魅力伝える様々な事業を展開し、放送会館への来場者増加を目指します。</p> <p>◇より効率的な営業活動を通じて、さらに丁寧なお客様対応を励行し、地域の皆さまからの声を大切に受けて受信料の公平負担に努め、営業基本目標を達成します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

部局目標 [2020年度]

局名 熊本放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	熊本地震を伝え続け、防災・減災と地域の元気のために地域の公共メディアとしての責任を果たします。	<ul style="list-style-type: none"> ◇大規模化する災害に備え、迅速・適格な防災・減災情報を発信する。熊本地震の教訓や熊本城の再建も伝える。 ◇新型コロナウイルスについてきめ細かに情報発信する。 ◇地域の課題を伝えるとともに明るい話題も発信する。 ◇最新の技術を活用した映像資料の保存を進める。 ◇2021年度以降の地域放送のあり方について方向性を決める。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	すべての働く人と家族の健康と暮らしの充実を最優先に、業務改革を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ◇職員・スタッフとその家族の健康を最優先として、前例や慣習にとらわれず常に仕事の進め方を見直す。 ◇地域のニーズを見極め、社会情勢の変化に対応した業務運営を進める。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	視聴者とのふれあいを深める取り組みを進め、受信料の公平負担を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> ◇視聴者からの信頼を第一として受信料制度の理解と公平負担を推進する。 ◇会館設備を最大限に活用し、最高水準の映像を体験していただく機会を増やす。 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	北九州放送局
----	--------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	みなさまの命と暮らしを守る防災・減災報道を充実させ、地域の安心・安全に寄与します。	<p>◇ニュース情報番組等で日頃から防災につながる情報を提供し、地域の安全・安心を守ります。</p> <p>◇迅速・正確な緊急報道、災害報道では福岡拠点放送局と連携しながら万全を期し、避難情報など緊急性の高い情報は北九州局独自のスーパー等できめ細かく伝えます。</p> <p>◇災害時に便利で有用性の高いラジオを通じて、地域の防災に関する情報を提供します。</p> <p>◇放送継続に不可欠な基幹設備の整備や老朽更新を的確に実施すると共に、放送の安定送出に万全を期します。</p> <p>◇豪雨などによる放送会館の機能不全時を想定し、定期的な訓練や福岡拠点放送局と連携して非常時に備えます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の話題や魅力を積極的に発信するとともに、様々な課題を掘り下げ、地域の期待に応える放送・サービスに取り組みます。	<p>◇東京オリンピック・パラリンピックを目指す地元選手やJ2に昇格したギラヴァンツ北九州の放送など、地域に関心のある話題を積極的に取り上げます。</p> <p>◇北九州市で開催される東アジア文化都市をはじめとする地域のイベントやお祭りに連動して、地域の魅力を様々な形で発信し、地域の期待に応えます。</p> <p>◇地域が抱える課題や魅力を掘り下げ、広く発信します。</p> <p>◇近隣の局とも連携しながら、地域に関心のある情報を効果的・効率的に放送します。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	放送や視聴者コミュニケーション活動を通じて、地域との結びつきを深めるとともに、NHKへの理解促進と受信料の公平負担の徹底を図ります。	<p>◇受信料制度への理解促進と視聴者コミュニケーション強化に全局体制で取り組みます。</p> <p>◇4K8Kやインターネットサービスなど、新しい取り組みについて様々な形で積極的に紹介し、視聴者の利便性を高めます。</p> <p>◇様々な街に訪問し、街の魅力やそこに暮らす人々の営みを紹介することで地域との結びつきを深めると共に、イベントなどを通じて、より身近に感じてもらえるよう努めます。</p> <p>◇営業改革を一層推進し、効率的な営業活動で受信料の公平負担をさらに進めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
4	公共メディアへの進化に向けて、高い倫理観実現のためのコンプライアンスの徹底を図るとともに、業務改革を推進し、効率的・効果的な業務運営を目指します。	<p>◇一人一人が高い倫理観を持ち、法令遵守と組織の様々なルールを理解したうえで、NHKプラスをはじめインターネットを通じたサービスを的確に行い、公共メディアへの理解促進を図ります。</p> <p>◇九州・沖縄地域改革の成果を高めるために福岡との連携強化に取り組み、経営資源の適正化と有効活用に向け、既存業務の見直しと生産性向上に努め、効率的・効果的な業務運営を実現します。</p> <p>◇働き方改革を推進し、誰もが健康で、活気に満ちた風通しのよい職場づくりに取り組み、創造性豊かな質の高いサービスの提供に努めます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名	長崎放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針										
1	被爆75年、被爆地の公共メディアとして核兵器廃絶や平和を願う長崎の声、世界の動きを国内外に発信します。	<ul style="list-style-type: none"> ◇平和祈念式中継や特集企画など、核廃絶の訴えや被爆体験の継承に資する放送番組、ネット展開 ◇節目の年に改めて被爆の悲惨さや核兵器の現状を見つめる番組 ◇平和運動や被爆体験の継承に向けた新しい世代の動きを伝える報道 ◇核兵器のない世界を目指す海外の動きを伝える報道 ◇平和について考えるきっかけを提供するイベント 	<table border="1"> <tr> <td>“公共メディア”への進化</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>多様な地域社会への貢献</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>未来へのチャレンジ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>視聴者理解・公平負担を推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>創造と効率、信頼を追求</td> <td></td> </tr> </table>	“公共メディア”への進化	✓	多様な地域社会への貢献	✓	未来へのチャレンジ		視聴者理解・公平負担を推進		創造と効率、信頼を追求	
“公共メディア”への進化	✓												
多様な地域社会への貢献	✓												
未来へのチャレンジ													
視聴者理解・公平負担を推進													
創造と効率、信頼を追求													
2	平日夕方6:10、金曜夜7:30の地域放送番組を充実させ、地域固有のテーマを多角的に取り上げるとともに、長崎の魅力を発信し、地域社会に貢献します。安全・安心を守る報道には万全の体制で取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇命と暮らしを守る防災・減災報道の充実とマルチ発信 ◇感染症や経済危機など社会的リスク・不安に対する安全・安心報道 ◇「イブニング長崎」「長崎人」の一層の定着・支持拡大につながる多様な取り組み ◇高齢化・人口減少など地域社会の課題を多角的に取材し伝えるとともに、諫早湾干拓事業や新幹線整備など地域で議論されるテーマをわかりやすく掘り下げる報道 ◇米軍や自衛隊の動きなど東アジアの安全保障と住民生活への影響をめぐる報道 ◇長崎県の、キリスト教や諸外国の文化とつながってきた多様な歴史、恵まれた農林水産物や観光資源について全国に紹介 ◇V・ファーレン長崎情報をはじめ人々の期待に応えるスポーツ報道 ◇正確・迅速かつ公平・公正な選挙報道 	<table border="1"> <tr> <td>“公共メディア”への進化</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>多様な地域社会への貢献</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>未来へのチャレンジ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>視聴者理解・公平負担を推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>創造と効率、信頼を追求</td> <td></td> </tr> </table>	“公共メディア”への進化	✓	多様な地域社会への貢献	✓	未来へのチャレンジ		視聴者理解・公平負担を推進		創造と効率、信頼を追求	
“公共メディア”への進化	✓												
多様な地域社会への貢献	✓												
未来へのチャレンジ													
視聴者理解・公平負担を推進													
創造と効率、信頼を追求													
3	視聴者との結びつきを強め、理解と信頼を一層高めて、公共放送の基盤安定を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇放送と連動したわかりやすく親しみやすい広報・理解促進活動 ◇地域の人々・自治体とのつながりを強める公開番組・イベント ◇4K・8K放送の普及促進に資する番組制作や広報活動 ◇新規設備による放送送出の信頼性向上や着実な保守整備等を通じた電波の安定送出確保 ◇視聴者の理解と信頼に基づく、より効率的な契約・収納活動を推進 	<table border="1"> <tr> <td>“公共メディア”への進化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多様な地域社会への貢献</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来へのチャレンジ</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>視聴者理解・公平負担を推進</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>創造と効率、信頼を追求</td> <td></td> </tr> </table>	“公共メディア”への進化		多様な地域社会への貢献		未来へのチャレンジ	✓	視聴者理解・公平負担を推進	✓	創造と効率、信頼を追求	
“公共メディア”への進化													
多様な地域社会への貢献													
未来へのチャレンジ	✓												
視聴者理解・公平負担を推進	✓												
創造と効率、信頼を追求													
4	「業務改革」と「働き方改革」を進め創造的で効率性の高い職場環境を実現するとともに、コンプライアンス・リスクマネジメントの徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ◇既存業務の見直しや業務の標準化・平準化等、継続的な改善を通じた、地域放送の充実・強化と「働き方改革」の両立・推進 ◇高い意識と適切な勤務管理、各種制度やツールの活用によるワーク・ライフ・バランスの実現と、多様性があり風通しの良い働きやすい職場づくり ◇力強い地域放送サービスを支える人材の育成 ◇コンプライアンス・公金意識の向上とリスクマネジメントの推進を図る各種施策 	<table border="1"> <tr> <td>“公共メディア”への進化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多様な地域社会への貢献</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未来へのチャレンジ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>視聴者理解・公平負担を推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td>創造と効率、信頼を追求</td> <td>✓</td> </tr> </table>	“公共メディア”への進化		多様な地域社会への貢献		未来へのチャレンジ		視聴者理解・公平負担を推進		創造と効率、信頼を追求	✓
“公共メディア”への進化													
多様な地域社会への貢献													
未来へのチャレンジ													
視聴者理解・公平負担を推進													
創造と効率、信頼を追求	✓												

部局目標 [2020年度]

局名	鹿児島放送局
----	--------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	大雨、地震、桜島の火山災害など想定される緊急事態に備え、鹿児島局の非常時体制を更新。災害の際には、特設ニュース、マルチ発信など災害情報からライフライン情報まで迅速、的確な情報発信を行い、地域の安全安心に貢献する。	◇緊急報道では、テレビと同様にラジオでもローカル特設枠を設け きめ細やかに情報を伝える。また、L字、データ放送、マルチ発信、様々なメディアで情報発信し、公共放送の使命を果たす。 ◇災害時に備え「緊急送出訓練」「マルチ発信訓練」を実施し、職員・スタッフがすみやかに初動体制をとれるようにする。 ◇鹿児島放送会館の機能喪失時に備えて、サブステーション等の機能をさらに整備する。 ◇災害ハンドブックを継続的に更新、適宜、職員に周知共有する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域放送改革を一段と進める。平日の午後6時台と金曜夜7時台の県域番組では地域の課題にじっくり向き合い、地域に役立つ存在として浸透を図り、地域情報・文化の拠点としての役割を果たす。	◇平日午後6時台の「情報WAVEかごしま」では、視聴者目線 を大切にして、独自の企画・シリーズを組むなど地域問題に真摯 に向き合う。 ◇金曜夜7時台には鹿児島局の自主制作番組に加えて、鹿児島に関係のある全中番組の再放送やリメイクを積極的に編成する。 ◇「NHKプラス」の開始など、スマホ視聴を意識したソフト作りに取り組み、若者へのプレゼンスを高める。 ◇自主制作番組・イベントへの関心を高めるため、スポット、L字 などを駆使して宣伝していく。 ◇地域指標やモニター報告・視聴率調査等を分析、その知見を元に 放送・イベントの質を向上させていく。 ◇一層の「働き方改革」を進め、健康に働ける職場環境を作る。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
3	放送・イベント・インターネットを有機的に活用した視聴者コミュニケーション活動を通じてNHKへの理解促進と受信料の公平負担の徹底を図る。また、特約店活動を積極的に展開し、訪問要員に頼らない体制を構築する。	◇定例の「公開派遣番組」に加え、新規イベント、特集番組などで各部と連携し、全局体制で視聴者に向き合う。NHKへの親近感を醸成し、営業成績の向上を目指す。 ◇全営業目標達成のため、訪問要員の体制整備と「特約店」取次増など訪問によらない効率的な営業体制を構築する。 ◇視聴者からの信頼を維持するため、より一層日常のリスク管理を徹底し、不正を許さない組織を作る。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

部局目標 [2020年度]

局名	宮崎放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	「命と暮らしを守る」防災・減災・緊急報道に全力で取り組みと同時に、県民が必要とする情報を正確・迅速・多角的に伝えたり、多彩なコンテンツ・サービスを様々な技術を使って届けることで、公共的価値を高める。	◇災害・緊急報道時の特設ニュース・マルチ発信の強化の継続、多様な技術やサービスを駆使し、情報の付加価値を高める。 ◇防災の取り組みや課題を継続的に伝え、県民の防災意識の向上に努め、安全安心な地域作りに貢献する。 ◇正確・迅速・細やかな報道で視聴者の信頼に応える。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓
2	地域の課題と向き合い解決策を模索したり、地域の関心に応える情報発信・番組を通じて、県民へのサービス向上に努め、さらに多様な地域の魅力を全国・世界に発信することで、地域社会の活性化に貢献する。	◇夕方6時台のニュース情報番組を改善し、接触率を向上させる。金曜730等番組の魅力を高め、品質向上させる。 ◇そのマルチ展開等で、課題解決や地域のためになるテーマをシリーズ、キャンペーン化し「情報の社会的基盤」となる。 ◇国文祭等のイベントと連動、地域のスポーツ活性化や歴史・文化・伝統の発信等を通して、地域振興に寄与する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務改革の視点から既存業務を見直し、効率化によって生み出されたパワーを新規投資につなげる。	◇これまでの取り組みを検証、その上で公共メディア時代に向けた持続可能な業務体制の構築を意識し、経営資源の配分や業務フローの見直しを確実に実行し、業務効率化を徹底する。	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	✓
4	視聴者コミュニケーションを強化し、視聴者満足度、職員満足度を向上させ、同時に受信料の公平負担の徹底に向けた取り組みと営業改革の推進を行う。	◇新たな視聴者コミュニケーションの開発と推進活動を実施する。それを通じて地域指標、職場環境評価を向上させる。 ◇受信料の公平負担の徹底に向けた取り組みを全局的に行う。また、営業改革を推進して、より効率的な契約・収納方法を開発する。	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	

部局目標 [2020年度]

局名	大分放送局
----	-------

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	防災・減災、緊急報道、復興支援を充実させて、地域の安全・安心の拠点としての機能や体制を強化します。	<ul style="list-style-type: none"> ◇災害時には総合テレビのL字・ラジオ・データ放送・ホームページなどを最適に活用するマルチ発信を全力で実施 ◇感染症の拡大危機には地域の医療・生活情報や自治体の支援策などを発信し、安全で安心な暮らしに貢献 ◇大分局サイトで公開した「大分県災害データアーカイブ」を充実させて利便性を向上 ◇地域のメディアや自治体などと連携し、防災・減災キャンペーンを展開するとともに、被災地の現状や課題を発信し復興を支援 ◇災害時の事業継続計画や対策ハンドブックの見直し、定期的な訓練の実施などで緊急報道体制を強化 ◇放送設備の強靱化整備とともに、放送の安定送出・電波確保に向けたノウハウ継承・人材育成を推進 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域の魅力や課題、人々の判断のよりどころとなる正確な情報を多角的に取り上げ、公平・公正に伝えることで、「情報の社会的基盤」の役割を果たします。	<ul style="list-style-type: none"> ◇人口減少、少子高齢化、事業承継、インバウンド増加など、地域の課題を幅広く取材して、地域向けに放送するとともに、全国や海外にも発信 ◇開催延期となった「東京オリンピック・パラリンピック」の課題や大会出場を目指す大分県出身選手を紹介するとともに、関心の高いパラリンピックの情報発信に注力 ◇誰もが人格と個性を尊重し、支えあい、多様なあり方を相互に認め合う「共生社会」の実現に向けた情報を取材して発信 ◇豊かな自然や伝統文化・食など、4K・8Kの超高精細映像も生かして地域の魅力を伝える番組を制作し、観光面で地域に貢献 	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	放送・インターネット・イベントを活用し視聴者のみなさまと双方向のコミュニケーションを推進するとともに、公共メディア・受信料制度への理解促進により受信料の公平負担徹底に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇パラ・スポーツのイベント開催や大分局スタジオホールの活用などで地域の人々に開かれた放送局を目指す ◇地域放送番組と連動したショート動画の公開や「NHKプラス」への試聴誘導など、インターネットのさらなる活用 ◇業務改善を組織文化として定着させ、効率的で風通しのよい職場環境を構築 ◇NHK全体の目標となる受信料の支払率84%、衛星契約割合54%の達成に貢献 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 佐賀放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	佐賀地域の安心安全を支える防災減災報道に取り組み、生活に直結する課題や地域の将来を左右する動きなどをニュース・番組・デジタルサービスでタイムリーに提供して地域のみなさまの期待と知りたいに応えます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇平日午後6時台は、その日に知っておきたい佐賀のニュースと佐賀の暮らしを豊かにするお得情報を届ける ◇佐賀豪雨を教訓に、大雨や台風・地震などの自然災害に備え、生命と暮らしを守る防災・減災報道を迅速に提供する ◇新型コロナウイルスの感染拡大防止と地域経済や生活への影響などの情報をL字やデータ放送・Webサイトでの確に伝える ◇「さが★てん557」など、気象予報士による気象情報を強化 ◇九州新幹線・長崎ルートを巡る対立など、地域の将来を左右する動きをタイムリーにわかりやすく解説する ◇豪雨や玄海原発事故などの大規模災害を想定し、災害や地震による送出訓練、運用面改善に継続して取り組む 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	地域放送番組が視聴者にとってより親しみのあるものになるよう情報発信力を高めるとともに、2021年度に控えた開局80周年と新会館オープンも見据えて、県民の暮らしに貢献する番組やイベントの準備に本格的に取り組みながら、地域のにぎわい創出とBCPを実践する新放送会館の建設を着実に進めます。また、4K・8K(スーパーハイビジョン)での魅力発信に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇金曜午後7時台の地域情報番組で、農業・漁業などの地域産業、焼き物や祭りなどの伝統文化、未来を担う若者たちの挑戦など、地域の魅力を掘り起こす ◇地元プロスポーツチームや東京オリパラ出場予定の地元選手を紹介するなど、スポーツ競技を積極的に取り上げる ◇2021年度の新放送会館運用開始を目指し、地域の賑わい創出、災害に強い放送会館のコンセプト実現に向けて着実に整備を進める ◇4K・8Kコンテンツ制作と効果的なPV実施で、4K・8K放送の普及促進に取り組む 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
3	北部九州地域の公共メディアとして、効果的・効率的に放送事業に取り組み、受信料制度について一層のご理解を頂き、更に「信頼される放送局」となることで受信料の価値を一層高めめます。そのために、業務の棚卸をはじめとして、業務の平準化、定型化、自動化などで業務改革に努めるとともに、コンプライアンスの徹底、働き方改革で更に活力ある職場を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> ◇平日午前11時台を、福岡拠点放送局の番組と連携し、福岡県の視聴者にも広く佐賀の情報を届ける ◇多様な地域の期待へタイムリーに応えるため、Webサイトのローカルニュース動画で積極的に情報を発信して、地域からのアクセスをアップさせる ◇従来の発想を見直し、在宅勤務などを通じて「働き方改革」を推進し、創造性を発揮できる環境を確保する ◇各種法人・団体等への働き掛けを強化し訪問によらない契約取次を増加させていく ◇個人情報保護等の日常管理と懇切丁寧な視聴者対応を徹底することで、視聴者からの信頼を確保する 	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓

部局目標 [2020年度]

局名 沖縄放送局

項番	目標	主な取り組みのポイント(指標等)	経営計画の重点方針	
1	2年後の本土復帰50年に向けて沖縄の魅力や課題を県の内外に発信するとともに、誰もが安心して暮らせる社会の実現をめざします。	<p>◇本土復帰から半世紀となる2022年を見据え、沖縄の現状と将来について県民のみならず国民全体で考えるための情報や視点を提供する取り組みを強化します。</p> <p>◇首里城の再建に向けた動きをはじめ、歴史・文化やスポーツなど沖縄の多彩な魅力を幅広く取り上げます。平日夕方方のニュース番組をより身近で親しみやすい内容に刷新し、県民の期待に応えます。</p> <p>◇戦後75年の節目を迎え、沖縄戦の記憶の継承など平和を実現するための放送を充実させます。</p> <p>◇災害報道の体制を強化し、L字画面やデータ放送、インターネットを駆使してきめ細かく情報発信します。離島協力者のネットワーク拡充や外国語情報の発信強化にも取り組みます。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	✓
			視聴者理解・公平負担を推進	
			創造と効率、信頼を追求	
2	受信料制度の理解促進に全局をあげて取り組み、沖縄の一員として県民から信頼していただける放送局をめざします。	<p>◇悲願の世帯支払率50%突破を弾みに、受信料制度の一層の理解促進に取り組みます。初めて実現した県内ケーブルテレビとの団体一括支払契約を取次拡大につなげるとともに、公益企業との連携など訪問によらない新たな契約・収納手法を開発します。</p> <p>◇公開番組やイベントを開催実績のない自治体を中心に各地で展開し、幅広い世代にNHKに触れていただける機会を増やします。</p> <p>◇本島中南部に偏った情報発信とならないよう、離島や県北の話題を積極的に取り上げ、全市町村との連携を強化します。</p>	“公共メディア”への進化	
			多様な地域社会への貢献	✓
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	
3	業務のあり方を不断に見直し効率化を図るとともに、新たな視聴者コミュニケーション活動を開発します。	<p>◇委託を含めたあらゆる業務プロセスのあり方を見直し、受信料の価値を高めるための効率的な組織運営をめざします。業務の効率化を徹底し、事業やスタッフ経費の一層の削減につなげます。</p> <p>◇広報活動の高度化の一環として、夕方ニュース番組のPRをインターネットでも発信し、局のホームページへのアクセス数を増やします。</p> <p>◇局のマスコットキャラクター「さあたあちゃん」の活躍の場を広げ、番組や営業活動と連動させて効果的なPRを展開します。</p> <p>◇コンプライアンスを徹底して不祥事を起こさない職場風土を築き、受信料で支えて頂くにふさわしい組織を作ります。</p>	“公共メディア”への進化	✓
			多様な地域社会への貢献	
			未来へのチャレンジ	
			視聴者理解・公平負担を推進	✓
			創造と効率、信頼を追求	✓